

「旭川未来会議 2030」の開催にあたって

当初、北の嵐山としての取り組みとして考えていたが、嵐山地区の今後を考える際に、北の嵐山、あさひかわビジターセンター、北邦野草園の各関係者が意見を交わし、互いの存在と役割を理解し合うことが必要であると意見がまとまり、本日に至るまで3度の意見交換会が行われた。

これを契機に、地域の連携と協力を促進する場として「嵐山地区連絡会」として継続的に意見交換を行い実際の活動へと繋げていく。

### 【嵐山地区活性化構想(2025年)】

旭川市西部の嵐山および北の嵐山（静望地区）が持つ豊かな自然・歴史・文化・工芸資源を活かし、「アドベンチャーツーリズム」の理念と手法を取り入れて、地域の魅力発信と観光誘客、地域活性化を目指す。また、それに関わる人材の育成や継承も推進する。

#### ■主な対象者

地元住民

学校関係者（生徒・先生）

国内外の観光客

#### ■体験型観光の概要

##### ◎自然・歴史・文化を楽しむ体験プログラム

自然体験（ガイド付き）

- ・嵐山遊歩道でのトレッキング・嵐山縦走ツアー（動植物・自然地形・歴史遺構の観察）
- ・北邦野草園の散策・講座を通じて北海道の自然への理解を深める
- ・チセ泊キャンプ+アイヌ料理体験による伝統文化とのふれあい

歴史・文化ガイドツアー

- ・縄文遺跡やアイヌ文化、地質・地形を学ぶ知的体験型ツアー
- ・教育旅行や文化観光に対応

##### ◎地域文化と芸術に触れる体験

文化・芸術体験（北の嵐山を拠点）

- ・陶芸・木工・染色・ガラス工芸などの工芸体験
- ・茶道体験で静寂の中、日本文化を味わう
- ・ギャラリー訪問や地元音楽隊による演奏鑑賞

## 特別体験コース

- ・ カヌー体験(嵐山~神居古潭)+アイヌ文化ガイド付き
- ・ サイクリングツアー（自然と歴史を結ぶルート）
- ・ 西洋陶磁器（マイセン）コレクション館の設立も検討

## ◎地域を支える観光拠点整備

### ものづくりパーク

- ・ 工芸体験、作品展示・販売、観光案内を統合した複合拠点
- ・ 職人と観光客が交流する地域のハブとして活用

### サイクリング拠点整備（旭川駅~嵐山）

- ・ 北邦野草園周辺にレンタサイクル拠点を設置
- ・ 四季の景観が楽しめるルートを整備、乗り捨ても可能に

### 地域交流型宿泊施設

- ・ 地元作家の器や家具を使い「暮らすように泊まる」体験を提供
- ・ 滞在中の工房めぐりや地域住民との交流も促進

## ■総括

嵐山地区は、自然・歴史・工芸・暮らしを一体的に体験できる貴重な地域資源を有している。今後は「嵐山地区連絡会」の活動を基盤に、町内会など地域内の理解を得ながら、訪れるだけでなく、暮らしを味わえるような旅のスタイルを提供する持続可能な拠点づくりを進めていきたい。

### 【その他喫緊の課題】

以前より指摘の旭川市所有の道案内表示が安全面及び景観の観点から、より修繕若しくは更新が必要な状況に迫られている状況となっていますので速やかに対応をご検討頂きたい。



静望公園前(旭岡2丁目)



遊歩道入口(旭岡1丁目)